

'70

会報



THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

鶴岡ロータリー

第 577 号

1970.11.17 (火)

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや

事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内 ☎ 5775

会報はご家族みんなで読みましょう

四つのテスト

—言行はこれに照してから—

1. 真実か、どうか
is it the truth?
2. みんなに公平か
is it fair to all concerned?
3. 好意と友情を深めるか
will it build goodwill and better friendships?
4. みんなのためになるかどうか
will it be beneficial to all concerned?

〆隔りを取り除こう〆

出席報告

本日の出席	会員数	63名
	出席数	42名
	出席率	66.67%
欠席者	阿宗君、阿部(公)君、荒明君、長谷川(文)君、林君、池内君、五十嵐(三)君、五十嵐(一)君、海東君、金井君、加藤君、金野君、嶺岸君、三井(徹)君、三浦君、佐藤(昇)君、笹原君、佐々木君、富樫君、藪田君、谷口君	
前回の出席	前回出席率	79.37%
	修正出席数	54名
	確定出席率	85.71%
メークアップ	林君—東京麴町RC 廖君—温海RC 阿宗君—新庄RC 海東君、嶺岸君、齋藤(信)君 鈴木(弥)君—鶴岡西RC	

ビジター 前田一郎君—山形西RC
半田茂弥君—鶴岡西RC

スマイル 石黒慶之助君
11月15日温海ロータリークラブのチャーターナイトが盛会裡に挙行され、重責を果たしたため。

会長報告

ガバナーの公式訪問について発表します。11月24日のしらゆきで佐藤ガバナーがお出でになり、直ぐに会長、幹事と1時間位の予定で懇談があり、その後クラブ協議を行うこととなります。クラブ協議会は午後4時から7時までホテル山王閣において挙行いたします。各委員長は必ず出席ねがいます。都合により委員長が出席出来ないときは、委員会の中から代理出席をねがいます。公式訪問についてのクラブアッセンブリーに未だ出席されたことのない会員の方々は、この機会に参加されるよう望みます。

24日の例会は、ガバナー公式訪問のために行わず、翌25日に行われ、これにガバナーが出席されます。そこでこのクラブの在り方について、サジェスションがあればこれを承るということとなります。

それが了りますと、すぐ温海ロータリークラブに行かれる予定になっております。

次にこの間廖さんの中華料理のスピーチのときお話のあった試食については、廖さんのご好意により、特別にコックさんをごちらに差し向けられ、中華料理の何品かを添えていただくことになりました。これは25日の例会に行われるので、公式訪問と重り都合に存じます。廖さんに対し感謝いたします。

それから今日はロータリー財団週間の1日にあたります。実はこのあいだ通知が届いて

いますが、当クラブは、ロータリー財団の600%クラブになりました。届いた600%パッチをお返しします。

この地区のロータリー財団の寄附額を6月30日現在でみますと600%が最高であります。この当時はわがクラブでも500%で、第353地区の500%クラブは4クラブで、秋田、能代、鶴岡、相馬となっております。400%クラブが1クラブ300%クラブが13クラブ、200%クラブが27クラブ、100%クラブが30クラブとなっております、当クラブは張先生等のお骨折りをいただき、お蔭で600%に達したことをご披露いたします。

15日行われた温海クラブのチャーターナイトには、当クラブから30余名のご出席をいただき、スポンサークラブとして一番多出席となり面目をほどこしました。御礼申し上げます。

温海クラブのチャーターナイトの報告とお礼

石黒慶之助君

15日のチャーターナイトには240名の方がご出席されました。スポンサークラブとしては鶴岡から31名、鶴岡西から20名で51名の多数の方が出席なされました。おいそがしいところまげてご出席をいただき、この席から厚く御礼を申し上げます。

当初温海クラブでは仲々意慾が盛り上らず実行が不可能かもしれないと思ったのであります。しかし途中から油がのり皆が張切ってまいりますと、今度は勝手な行動をおこし、自己流の判断でことをすすめていったこともあります。これをたしなめるには私としても相当に苦勞しました。私がうかつに無理を申し上げますと、きらわれるところもあり仲々その辺の調整がむずかしくありました。ご夫人も万難を廢して23名のご出席をいただきましたし、仲々エキサイトした面もありましたが、万国屋旅館の方で非常にお骨折りをいただき、まずまず盛大裡に出来ましたことを喜んでおります。

これもスポンサークラブの会長はじめ皆様のお力添の賜と感謝いたします。

ところで、今考えますと、いろいろと欠点が見受けられ汗顔の至りであります。第一に席次の問題で、スポンサークラブが一番よいところに座り、遠来のクラブが中程になったこと（このことについては後程早坂源四郎君より、そういう慣例でまちがっていないというアドバイスがありました）これは席次を印刷に出す前に目を通さないでしまったためにこのようになったので、遠来の参加者に大へん失礼したとくやんでおります。

それから温海クラブのご夫人方のご紹介を断乎として拒否されたことで、そのため会員の紹介はいたしました、夫人方の紹介を略すの已なきにいたったことで、他クラブの参加者から奇異の眼をもってみられたことなどもあります。

斯様なことで、何かと不手際なことがあり申し訳ないと思っています。しかしながら僅か半歳で温海クラブがあすこまで成長したというだけをお考えいただけますと、チャーターもまことに有意義であったと思います。

特にスポンサークラブの小池会長から賜った祝辭に関し、私が大へんお褒めの言葉をいただき恐縮しております。

それから外部拡大委員会が今まで存続して参りましたが、これを機会に拡大委員会の任務は終わったものと思いますので、各委員の方々が大変ご苦勞をなされたことを、この席から感謝いたします。

どうぞこれからも温海クラブの発展のため皆様からご支援くださるようお願いいたします。まことに有難うございました。

「ロータリー財団週間に当って」

ロータリー財団委員長 小花盛雄君

今週はロータリー財団週間になっており、世界中14,373のロータリークラブは、この一週間を通じて、ロータリー財団について色々な方面から検討して、財団の力強い発展のために寄与しようとする68万の全ロータリアンが力を尽しているのです。

それで毎年のごことで、古い会員の方は耳にタコが出る位かもしれませんが、ここでもう一度復習していただき、また新しい会員もおりますので、今日は精しく申し上げたいと思います。

まず財団の性格ですが、これは世界中のロータリークラブ、ロータリアンその他自発的に支援して下さった方々の信託財産であるということでもあります。

その目的とするところは、教育的、また慈善的性質をもって、いろいろな計画を通じて種々の民族の異った人々の間の国際理解と友好関係を増進するのがその目的であります。

その活動の重なるものは、財団の教育補助金があります。その教育補助金と申しますのは、ご承知のように大学院課程にある人の奨学金、それから3年前に始まりました大学に在学中の学生に対する奨学金、それから学問的訓練の補助金の3つであります。毎年すべての地区が受けることが出来ます。この大学院課程をも少し精しく申し上げますと、これは一番始めにロータリー財団の仕事として発

足したものであって、1947年からはじまりました。そのときは大学院の学生18名をもってスタートしたのですが、昨年度までにすでに2,700名の大学院の学生が、この奨学金を受けております。これは自分の国以外の大学に行って勉強する、かなり高度の資格をもつ青年男女に与えられるものであって、その年齢は20才から28才までと厳密に定められております。そして資格の一つに未婚であること、そして学士号をもっているか、あるいはこれと同等以上の学力をもっている人というようになっております。

給付を受ける額は、入学する大学までの旅費全額、それから一年間の生活費、研究中の教育費一切、これを全部財団が出てくれます。この奨学金のプログラムは、留学先の国のロータリアンと接触することを強く希望しております。帰ってきましたら、その地区内で国際奉仕計画に基づいて、その派遣地区のロータリアンと協力することが要請されております。

それから大学在学中の学生の奨学金は、大学院の方と殆んど同じであります。この方は大学の2学年を終了した人、またはそれと同等以上の資格のある人、つまり大学の3年生から申請資格が生ずる訳であります。こちらの方も年齢に制限があり、18才から24才までの男女という事になっております。前には一時女子学生への補助がストップになったことがありましたが、これが改められて、男女に与えられることになっております。

それから3番目に申し上げました専門的訓練ということですが、これは男女ともに既婚未婚の区別がなく21才から35才までになっております。この補助金は青年技工ならびに青年技術者、こういう方々が一年以内、他国に行って訓練を受けることが出来る制度であります。そしてこれはやはり前と同様に旅費と一年間の生活費と、その間に必要な教育費等をすべて受けることが出来ます。これはすでに4年ほど経っておりますが、今まで178国の補助金が与えられております。その他に研究グループの交換というのがあります。これは年齢は25才から35才までの青年実業家または専門職業人のチームに対して与えられます。来年の6月まではチームは6名ということになっておりますけれども7月からは5名に変更になります。そしてこの件を少し詳しく申し上げますと、安斎先生が地区のこの方の委員長をなさっており、先日温海のチャーターナイトにお出でになられましたときに、石黒先生を通じて当クラブに紹介してほしいとのことでございましたが、この地区でも是非研究グループの交換を実施したいの

で、その6人を秋田、山形、福島 の3県で2名宛、山形県では内陸から1名、鶴岡から1名これに是非参加させたいので、今月中にこの該当者がおりましたらクラブにその希望を申し出てもらいたいとのことでした。非常に良い機会と思ひご検討いただければ幸いに思います。

この研究グループのメンバーに入りますとロータリアンが一人別にリーダーとしてついて、その決められた地区を2ヶ月間まわる訳であります。更に各ロータリアンの家庭に入り或は学校、或は種々の事業場或は役所等いろんな機関を訪問するのです。そしてこの間に人と人との接触を通じて、その国について出来るだけ多くのことを学んでくるのであります。

第353地区で考えておる研究グループの交換先は、米国のテキサス州で、話は大部煮つまっているのであります。テキサス州の方からも6名の人がくるのですが、お互いの交換先での滞在中は食費、宿舎、交通費等は受入側の方でサービスすることになっております。

この計画が実現するためには、地区全体のロータークラブの3分の2のご賛成が必要ということが決められております。

往復の旅費は全額財団から出ますし、非常によい機会と思ひますので、是非お近くの方々に適任者があればご検討いただいて今月中にクラブの方にお申し出でねがいます。

以上が今まででありました財団のいろいろの補助金の制度であります。その他にももう一つ特別補助金という制度があります。これはロータリー財団の目的にそった教育的、慈善的価値のある計画に対して、補助金が特別に交付される制度であります。これはロータークラブ或は地区が提唱し、経費の一部分を負担し、そして国際理解増進に役立つものでなければならぬとされております。それから財団の補助金を受けないルールがあります。

財団は1947年以来4,000人を超える青年男女が1,000万弗以上の補助金によって一年間の研究と親善使節としての役割を果たすために他国に派遣されました。今年は600人以上の若人に175万弗の補助金が支給されます。

これらのロータリー財団の新計画の展開に伴って、より大きい規模での財政援助が必要であります。R Iではこの強化のためにいろいろの示唆を与えております。即ち米国の685地区では、例會に各ロータリアンが想像以上のゲストを伴い、その食事代として2弗づつを財団に寄付、又米国のカナボリスRCでは小銭を集めて317弗を寄付しておりま

す。

また昔から百万弗食事と云ってライスカレー程度の軽食を例会で摂って食費の差額を寄付する方法もとられてきました。「ロータリー財団の友」というのは、新会員1名10弗、他の会員は、一人1弗の寄付を承諾したクラブに付せられるもので、美しい証明書が贈られます。またクラブの%が200%に達した時にも証書が送られ、その後100%を増す毎に、これを証明するステッカーが送られます。又個人で一年間に1,000弗寄付した時は「ポールハリスフェロー」を、最初に100弗以上寄付して、その後、何年かかって総額1,000弗寄付する人を「ポールハリス準フェロー」と云い、1,000弗に達した時に「ポールハリスフェロー」と認定されます。一年間に500弗以上の中は「オノラリーフェロー」、100弗以上500弗未満を亡くなった人の追悼記念に寄付した個人は「メモリアル・コントリビューター」、一年間に100弗寄付した人は「サステーニングコントリビューター」と呼ばれます。恰度今日奇しくも先程会長から発表がありました私達のクラブが600%に達しました。この%は当地区では最高で、大変名誉なことですが、之は張会員の寄与するところが非常に大きいのであります。

財団の強化ということは、すべてのロータリアンの希うところでありますし、また他地区に比べて当地区の財団強化への寄付は甚だ遅れておりますので、今年の財団週間を記念して会員相互の力によってもう一段階のレベルアップすることを何とか御検討していただきたいと、ここに改めて提案する次第でございます。それで私もおくれればながら、私の担当していた地区の世界社会奉仕の仕事が完遂されたことを記念して只今200弗、そしてあとは毎年100弗ずつ寄付をする「ポールハリス準フェロー」への申込書をクラブ会長を通じて財団に申し入れました。この準フェローは恰度一日に喫う煙草代位のものの積重ねで出来る割に達成し易い制度でありますので他の会員の方にもお話しておりますが、今年のロータリー財団週間がクラブ会員一人一人のお力によって、財団強化に向って大きく前進することが出来ますことを財団委員長として心からお願ひして、私の話を終らせていただきます。

幹事報告

会報到着

白鷹RC、鹿兒島西RC、石巻東RC

例会場変更案内

東京浅草RC

新例会場 共和会館2階

台東区柳橋1-2-10

新事務所 同会館5階

正式加盟承認の挨拶

下関西RC

例会日時 水曜日 12.30

例会場 ホテル 水産会館